

みんなで こどもまんなか応援サポーター宣言！

【問】子ども青少年課 ☎ 613-8356

11月1日、市はこども家庭庁が募集している「こどもまんなか応援サポーター」になることを宣言します。

「こどもまんなか応援サポーター」とは？

子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するための「こどもまんなかアクション」の趣旨に賛同し、子どもや子育て中の人を応援する取り組みを進める自治体や企業、団体などのことです。

皆さんも「こどもまんなか応援サポーター」になりませんか？

「こどもまんなか社会」の実現のため、市内の企業・団体などの皆さまもぜひ積極的に「こどもまんなか応援サポーター」宣言をお願いします。サポーターとなった企業や団体などは、市ホームページなどに掲載する予定です。

「こどもまんなか応援サポーター」の応募フォーム▶



「こどもまんなか」の趣旨に賛同し子育て支援活動に取り組む皆さん
(8月30日「市長と語ろう!」もりおか盛り上げ座談会にて)

「こどもまんなか応援サポーター」や「こどもまんなかアクション」などについて詳しくは、こども家庭庁のホームページをご覧ください。



あなたにできること、きっとある。

もっと知りたい、里親のこと。



【問】こども家庭センターおやこ支援担当 ☎ 601-2414

里親ってなに？ 養子とは違うの？

さまざまな事情で家族と離れて暮らす子どもたちを自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解で養育する人が里親です。里親のうち、子どもが家庭に戻れるようになるか自立するまでの一定期間、受け入れて育てる人を「養育里親」といいます。法的に自分の子どもとして迎え入れる養育縁組と違い、実の親に代わって子どもを預かって育てる制度です。

子どもを迎え入れるまでのステップ

- 1 県福祉総合相談センターに相談
- 2 研修・家庭訪問
- 3 審査・登録
- 4 子どもとの面会、外出・外泊などの交流
- 5 子どもの迎え入れ

里親さんに聞いてみました！

市内で養育里親として子どもを受け入れているSさん

▶里親になろうと思ったきっかけ

乳児院でのボランティアがきっかけです。子どもたちがかわいくて、子育てに実子も里子も変わらないし、自分にも何かできることがあるんじゃないかと思いました。

▶実際に受け入れ

生後1カ月にも満たない赤ちゃんを受け入れて、今も養育里親として育てています。お世話については乳児院がサポートしてくれました。子どもの成長を実親さんと共有するために、定期的に写真を送っています。

▶里親に興味のある人へ

里親になることは特別なことではありません。さまざまな親子の形があります。乳児院や児童養護施設へボランティアに行くのもオススメです！

県ではこんな人を募集しています！

- 乳幼児や障がいのある子どもの受け入れができる人
- 緊急の受け入れができる人

里親制度について詳しくは、県ホームページをご覧ください。



子育てのイライラ、どうしたらいいの？

こんなこと、ありませんか？

- 何度言っても言うことを聞かないので、大声で怒鳴ったり、頭をたたいたりしてしまった
- 子どもがたたいてきたので、痛みをわかってほしくてたたき返した
- 「好きにしろさい、もうママ行くからね!」「お父さんに怒ってもらうからね!」などと、子どもを脅すような声掛けをした



これって、虐待かも…？

しつけと虐待の違いは？

しつけ:子どもが感情や行動を自分でコントロールできるよう導くこと
虐待:子どもの行動を力によってコントロールしようとする
▶しつけのつもりでも、子どもにとっては「怖い」印象しか残らないため「何が悪かったのか」が子どもに伝わりません。その結果、行動が改善せず、「この間も言ったでしょ!」と悪循環になってしまいます。

子育てがうまくいかなくて悩んだり、つい子どもを叱りすぎたりしてしまうことはありませんか？ 子育ての不安やイライラは誰にでもあります。そんなとき、どのように子どもと向き合えばいいのかわかりません。考えてみましょう。

【問】こども家庭センターおやこ支援担当 ☎ 601-2414

こんな方法もあります！

【感情をクールダウン】 カートツとなったとき、短時間その場を離れたり、冷たい水を飲んだりするなど、クールダウンするための自分なりの方法を見つけておきましょう。

【具体的に言葉で伝える】 子どもも親も落ち着いてから、「こうしてほしいよ」と親が思っていることを、具体的に短い言葉で伝えましょう。

【困ったら人に頼ろう】 子育ては、からだと心のエネルギーをたくさん使います。子育てをつらいと感じたら、それはあなたのSOSです。一人で頑張らずに家族で分担したり、相談機関で気持ちを吐き出したりすることも効果的です。

▶相談先: こども家庭センターおやこ支援担当 ☎ 601-2414 ※平日8時半～17時半



11月は児童虐待防止月間です

令和5年度 財政状況の公表

市の決算（一般会計）

一般会計では福祉や教育、都市整備など、市の主なお金の出し入れをしています。

令和5年度の決算は、歳入から歳出を差し引いた28億643万円から、令和6年度に繰り越した事業の財源18億4881万円を差し引いた実質収支で、**9億5762万円の黒字になりました。**

歳入 1340億3516万円

令和4年度に比べて、子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金などの国庫支出金や、盛岡南公園野球場整備事業に係る市債、県支出金が増えたことにより、総額では53億1034万円の減となりました。

歳出 1312億2873万円

令和4年度に比べて、民生費や農林費などが増えたものの、総務費や衛生費などが減ったことにより、総額では54億7254万円の減となりました。

決算のポイント

● 公共施設の大規模改修

公共施設保有最適化※1・長寿命化※2のため、庁舎や学校、教育文化福祉施設、市営住宅など市の施設の整備、維持・更新に取り組んでいます。

※1 将来にわたり施設を適切に維持できるよう、限られた財源を効果的に活用し、効率的な施設運営を目指すこと

※2 建物を80年使い続けることを目指し、建設後、おおむね20年目と60年目に修繕、40年目に大規模改修をすること

大規模改修をした主な施設と決算額

改修の内容	決算額
市立図書館の大規模改修	10億4945万円
北陵中学校の長寿命化改修	3億9013万円
飯岡農業構造改善センター外3施設・老人福祉センターの複合化	3億7589万円

● 市債残高の推移

市債残高は1398億9882万円で、令和4年度に比べ4億766万円減少し、令和5年度末でみた市民一人当たりの借金は50万2492円で、昨年度に比べ4255円の増です。

※参考:人口27万8410人(令和6年3月31日現在。住民基本台帳登録人口(外国人含む))

● 財政指標 (財政健全化判断比率)

地方公共団体の財政健全度を判断する4つの指標について、市はいずれも基準を下回り、健全な水準です。

※いずれかの指標が基準を超えると「早期健全化団体」や「財政再生団体」となり、財政健全化のための税金の増額、住民サービスの見直しなどが必要になります

	盛岡市 ▽	早期健全化基準 ▽	財政再生基準 ▽
①実質赤字比率 一般会計を中心とした赤字割合	赤字は発生していません	11.25%	20%
②連結実質赤字比率 全ての会計の赤字割合	赤字は発生していません	16.25%	30%
③実質公債費比率 年間の借金返済額の割合	10.3% (10.2%)	25%	35%
④将来負担比率 将来負担すべき負担の割合	75.6% (71.2%)	350%	

※()内は令和4年度の比率

→ 財政悪化

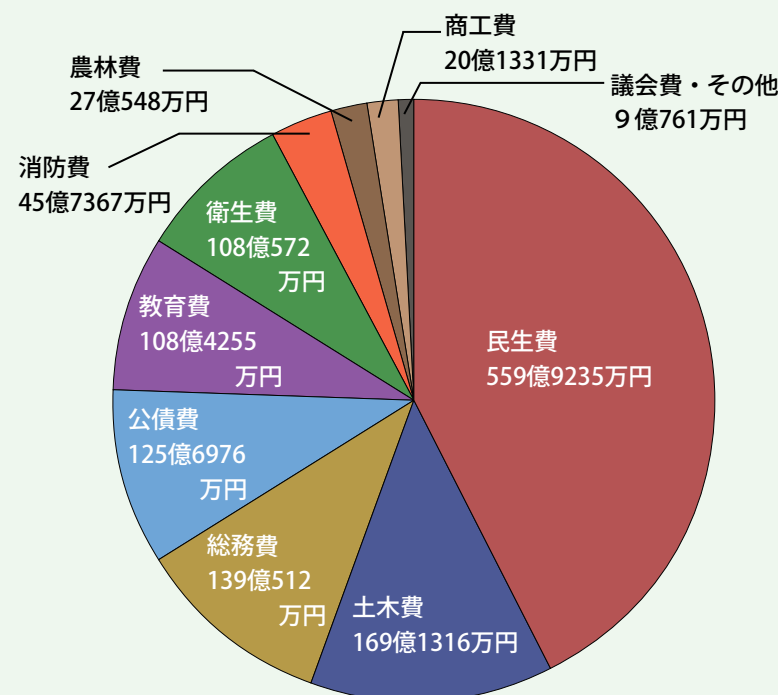
市は、市税や地方交付税などを財源にして予算を編成し、市民生活の向上と快適なまちづくりに取り組んでいます。令和5年度決算がまとまりましたので、概要をお知らせします。

【問】財政課 ☎ 613-8362 【広報ID】1049532

詳しくは、市ホームページをご覧ください



歳出の内訳と主な事業



◆ 民生費 559億9235万円

- 私立保育所や認定こども園などへの運営費給付、公立保育所の運営 120.1億円
- 乳幼児や小・中学生、高校生、妊産婦などへの医療費の給付 11.7億円
- 住民税均等割のみ課税世帯などに対する臨時特別給付金の給付 5.0億円
- 子育て世帯やひとり親世帯への特別給付金の給付など 3.8億円
- 児童センター（太田）の整備 2.4億円

◆ 土木費 169億1316万円

- 道明、都南中央第三、太田地区の区画整理 22.2億円
- 中ノ橋通一丁目地区の市街地再開発 19.1億円
- 市道の除排雪 7.3億円
- 利用しやすい公共交通環境の整備 4.9億円



monaka

◆ 総務費 139億512万円

- 道の駅もりおか渋民の整備 7.3億円
- きたぎんボールパークの管理運営 2.8億円
- 移住・定住・交流人口対策 0.7億円

◆ 公債費 125億6976万円

- 公共施設・インフラの整備などのための市債の返済や利子の支払い

◆ 教育費 108億4255万円

- 市立図書館の大規模改修 10.5億円
- 北陵中学校の長寿命化改修 3.9億円
- 小中学校のコンピュータ教育の推進 2.3億円



盛岡市立図書館

◆ 衛生費 108億572万円

- 新型コロナワクチンの接種 9.4億円
- 幼児や小・中学生のインフルエンザ予防接種補助金など 8.9億円
- 感染症の診療費や検査など 2.8億円
- 出産・子育て家庭に給付金の給付 1.9億円

◆ 消防費 45億7367万円

- 玉山地域の防災行政無線の更新整備など 0.1億円

◆ 農林費 27億548万円

- 新規就農者などへの補助金の給付 0.3億円

◆ 商工費 20億1331万円

- 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急経済対策など 4.8億円
- 市内中小企業者などへの金融対策支援 4.7億円
- 観光客の誘致・宣伝、宿泊事業者への支援 0.8億円
- IT関連企業の誘致を促進するための費用 0.2億円